

本年度の目標		項目	指標	評価の方策等	評価規準	取組の状況	評価	改善点		
目標設定理由	中長期経営目標									
<p>豊かな心 (徳) やさしく</p>	<p>○いじめ・不登校問題は本市の重要課題であり、学校・家庭・地域が連携協力して解決していく必要がある。</p> <p>○本市教育の目標「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」の達成に向けた取組を推進していく。</p>	<p>心豊かで自らを律し、自他の違いを認め合い、相手の立場に立って考え、行動できる思いやりの心をもつ子どもを育成していく。</p>	生徒指導の充実	<p>児童理解に立って、問題事象の解決に取り組む中で、自他を尊重する心高め、人と人とのつながりが意識できる好ましい人間関係を形成していく。</p>	・子どもとのコミュニケーションづくり	A	児童理解のもと、明るく支持的な学級のまとまりの中、自他を尊重する心高め、好ましい人間関係を形成している。	<p>・問題事象が起こった時は、児童の話をしっかり聴き、問題解決に努めている。</p> <p>・休み時間等も、児童の様子を観察することで、児童同士の関係や一人になっている児童の早期発見に努めている。</p>	3.2	<p>・友達のよいところを見つけるような活動をどのクラスでも継続していくことで、児童の自尊感情を高めさせていく。</p> <p>・明るく支持的な学級になるよう、互いを認め合い、好ましい人間関係が形成できる学級活動を行う。</p>
					B	人と人とのつながりが意識できる、好ましい人間関係づくりに努めている。				
					C	問題事象が起こった時は、児童の話をしっかり聴き取り、問題の解決に努めている。				
					D	児童とのコミュニケーションづくりに努めている。				
			道徳授業の充実	<p>「他の人とのかかわり」に関することに力点を置き、副読本、資料や体験的な活動等を適切に活用して、道徳の授業を充実していく。</p>	・わたしたちの道徳副読本等の活用	A	いのち、副読本・資料等の活用を進め、道徳の授業の充実に努めている。	<p>・週1時間の道徳の時間だけでなく、他教科の中に出てくる道徳的内容と結びつけて指導している。</p> <p>・対人スキルアッププログラムを活用し、人間関係作りに努めた。</p> <p>・「やさしさの花」のカードとポストをクラスに設置し、教室内に掲示した。</p>	3.0	<p>・実施内容を次年度につなぐために、記録をきちんと残しておく。</p> <p>・他人の気持ちを考えた言葉遣いができるように、指導をしていく。</p> <p>・いのち、副読本、資料などの活用を進め、道徳の時間の充実が図れるようにする。</p>
					・体験的な活動を生かした指導	B	「他の人とのかかわり」に力点を置いた指導に努めている。			
					・他の人とのかかわりに関する指導	C	道徳学習の内容項目のすべてについて、指導するようにしている。			
					・授業時数の確保	D	道徳の標準授業時数の90%以上を確保している。			
<p>自ら学ぶ力 (知) かしこく</p>	<p>○学力の向上は本市の課題であり、学校教育の主たる目標の一つである。</p> <p>○数学的な思考力・表現力及び知識や技能を活用して問題を解決していく力を培っていく必要がある。</p>	<p>基本的な知識や技能を身につけ、自分の考えを表現したり、伝えたりして、意欲的に学習に取り組む子どもを育成していく。</p>	学力の向上	<p>子どもたちの学習状況を適切に把握し、繰り返し学習や朝自習・家庭学習等を計画的・効果的に行い、一人一人の学力を向上させていく。</p>	・CRT結果の分析と活用	A	CRTや単元テスト、ミニテスト等の結果を指導に生かしていくことで、一人一人の学力の向上に努めている。	<p>・プリントやドリルを使用した繰り返し学習や朝自習、家庭学習などをきちんと行わせ、基礎的・基本的な内容の定着に努めてきた。</p> <p>・家庭チャレンジブックも毎月点検し、声かけをしている。</p> <p>・読み聞かせを行い、本に興味を持たせている。</p>	3.1	<p>・基礎的・基本的な内容が定着できるように繰り返しプリントなどで反復練習しているが、個々の理解力の差が大きく影響しているため、指導法の工夫を行っていく。</p> <p>・家庭チャレンジブックの活用を図る。</p> <p>・「穴生小学校朝自習プログラム」に沿って朝自習の充実を図る。</p>
					・ミニテストや単元テストの活用	B	基礎的・基本的な内容の習得や定着を図るために、繰り返し指導を工夫している。			
					・朝自習の活用	C	練習問題やドリル問題等を活用し、一人一人の学習内容の定着に努めている。			
					・読書好きの子どもへの育成	D	朝の自習時間を積極的に活用している。			
			算数授業の充実	<p>学び方を学ばせ、問題解決型の学習過程を基に、数学的な思考力・表現力をはぐくみ、知識や技能を活用して問題を解決していく力を伸ばしていく。</p>	・算数的活動の工夫	A	数学的な思考力・表現力を伸ばし、知識や技能を活用して問題を解決していく力を培っている。	<p>・毎時間、問題解決的な学習を行ってきた。児童も自分の考えを書き、自分から意欲的に学習に取り組めるようになってきた。</p> <p>・型が決まったノート作りにより、授業の流れも児童が覚え、進んで学習できるようになってきた。</p>	3.1	<p>・実態として学力の2極化が顕著なため、少人数学習を取り入れる。</p> <p>・わかりやすいノート作りを全学年で行っていく。</p> <p>・学力的に厳しい児童をどう支援していくかが今後の課題である。</p>
					・問題解決的な学習過程の実践	B	数学的な思考力・表現力の育成を意識して、授業を進めている。			
					・数学的な思考力・表現力と活用する力の育成	C	問題解決的な学習過程を授業の基本として、基礎的・基本的な内容の定着に努めている。			
					・年間授業時数の確保等	D	算数の標準授業時数の90%以上を確保している。			
<p>たくましい体 (体) たくましく</p>	<p>○子どもを取り巻く社会では、事件事故が多発し、安全・安心を求める保護者・地域の声が強い。</p> <p>○規範意識を高め、場に応じたあいさつができる子どもの育成が望まれている。</p>	<p>健康・安全及び礼節に関する知識と態度を有し、生涯にわたって心身ともに健康で、安全に過ごすことのできる生活力豊かな子どもを育成していく。</p>	安全・安心の実現	<p>学校事故防止のために、日常的な安全点検と学級活動等での安全指導を徹底し、ルールを守り、安全・安心に過ごす態度と実践力をはぐくんでいく。</p>	・穴生小生活のきまりの徹底	A	児童が安全・安心に過ごす態度と実践力を身に付けている。	<p>・「穴生小スタンダード」をもとに、安全・安心な過ごし方について、日々指導している。</p> <p>・廊下を走らない、暴れない、チャイム席を守るなどの学校のきまりを教室内に掲示し、自分たちは守れているのか、みんなで確認している。</p>	3.2	<p>・自分の行動が振り返られるように、安全チェックカードに記入するなどの取組の期間を設定する。</p> <p>・きまりを守る態度がしっかりと身に付くように、さらに声かけを多くしていく。</p>
					・安全指導の徹底	B	学校事故防止に努め、ルールを守って安全に過ごしていく態度の育成に努めている。			
					・安全点検の励行	C	「穴生小スタンダード」をもとに、安全・安心な過ごし方について指導している。			
					・校内事故への適切な対応と再発防止	D	学校の施設・設備については、日常的な安全点検に努めている。			
			挨拶の励行	<p>学校や家庭・地域で、進んで挨拶ができ、場や相手に応じたマナーや礼儀を身に付けた児童をはぐくんでいく。</p>	・学校・家庭・地域でのあいさつの励行	A	心のこもったあいさつができ、言葉遣いや返事など小学生らしいマナーや礼儀を身に付けている。	<p>・挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」は、自分から進んで先に言う指導を続けてきた。</p> <p>・元気のよい挨拶、正しい言葉遣いができるように指導している。心のこもった挨拶ができていない。</p>	3.0	<p>・児童同士で挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言葉として出るように働きかけていく必要がある。</p> <p>・挨拶をする児童とそうでない児童がいるので、引き続き指導を行っていく。</p>
					・場に応じた言葉遣いの推奨	B	児童は、場に応じた気持ちのよいあいさつを励行している。			
					・マナーや礼儀についての指導	C	児童は、元気のよいあいさつをしている。			
					・児童や保護者のアンケート等	D	学校や家庭等で、進んであいさつができるように指導している。			

※ 評価点は、評価項目ごとに、A（4点）、B（3点）、C（2点）、D（1点）として、その平均点を示すものである。達成値を2.5以上としている。